

# 新潟市総合計画審議会 第3部会（第4回） 会議概要

開催日時	令和4年9月5日（月） 午後1時から午後2時20分まで	
会場	新潟市役所本館5階 全員協議会室	
出席者	委員	丸田部会長、井上委員、今井委員、浦野委員、小池委員、古俣委員、佐久間委員、佐藤委員、長尾委員
	事務局等	政策企画部長、福祉部長、こども未来部長、保健衛生部長、教育次長ほか
<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 審議</b></p> <p>・ 前回意見の集約          (坂井政策調整課長)</p> <p>政策調整課の坂井です。よろしくお願いします。</p> <p>資料1-1「第3部会（第3回）意見集約表（案）」をご覧ください。こちらは前回ご審議いただいた政策5「教育」について、委員の皆様からいただいた意見を答申書に掲載する形に集約させていただいたものとなっております。</p> <p>次に、追加資料「部会長会議の概要」をご覧ください。先週、8月29日（月）に、牛木会長及び各部会の部会長にお集まりいただき、部会長会議を開催させていただきました。</p> <p>部会長会議では、各部会で出た意見についての報告や、後ほどご説明する、部会をまたがる意見の取扱いについて調整が行われました。加えて、各部会での議論を踏まえ、総合計画全体に係る内容として、資料の四角で囲んだ部分、記載の4点についてご意見をいただきました。</p> <p>一つ目としましては、前半部分に記載されている、将来想定される変化・課題、市の強み、政策・施策を推進する5つの視点などの要素が、計画の後半部分に必ずしも反映されていないように見えるため、それらを意識していることが分かるような記載にしてはどうか。</p> <p>二つ目として、各分野の政策・施策は相互に関連しているので、包括的に展開していくことが分かるような記載にしてはどうか。</p> <p>三つ目として、説明を聞いて初めてその意図が分かることが多いために、どのような背景や考え方に基づいてその文章が書かれているかが分かるように、ストーリー性を意識した記載にしてはどうか。</p> <p>四つ目として、新潟市のポテンシャルの高さを市民や多様な主体との間で共有し、誇りや愛着に昇華させていくプロセスが見えるようにしてはどうか。以上4点でございます。事務局としましては、これらの意見を踏まえながら、引き続き、素案をブラッシュアップしていきたいと考えています。</p> <p>関連しまして、資料1-2「他の部会からの意見（第3部会所管分）」をご覧ください。二つ載せております。ほかの部会と審議の中で、第3部会が所管する分野の内容についてご意見いただいたものをご報告するものです。</p> <p>上の方は第2部会で出た意見ですが、政策指標「大学等新規学卒者の県内就職率」について話し合っていた中で、大勢の学生が県外に出てしまうのであればそれに対する対策が必要ではないかといった議論から出たご意見でございます。</p>		

下の方は第4部会で出た意見が載っております。第4部会では市民の安心・安全の確保について話し合っていた中で、「災害」になるか分からないのだけれどもということで、新型コロナウイルス感染症やサル痘のお話が出まして、パンデミックへの対策が必要ではないかというご意見が出たところです。

部会長会議において調整した結果、これらの意見につきまして、所管する第3部会の意見として検討していただけないかということになりました。ご意見の内容に問題がなければ、ほかの部会から出た意見ではありますが、意見集約（案）のとおり、答申に含めさせていただきたいと思います。

（丸田部会長）

ありがとうございました。今ほど御説明いただいた資料1-1「第3部会（第3回）意見集約表（案）」及び資料1-2「他の部会からの意見（第3部会所管分）」について、ご意見やご質問をいただきます。今ほど説明がありました資料1-2については、他の部会から出た意見ではありますが、いずれも大切な部分を指摘している意見だと思います。これらの意見についても答申に含めることとしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。ご質問、ご意見をいただきたいと思います。

（小池委員）

資料1-1の私の意見のところについて、恐らくこういう発言をしていると思うのですが、幼児教育を見えるような形にさせていただきたいというのが一番お伝えしたかったことですので、教育の大切さが、幼児期のところから生涯教育のところまでというような流れが見れるような意見集約にしていただければありがたいと思います。

（丸田部会長）

小池委員の発言の趣旨について若干の修正を求める意見がありました。よろしくをお願いします。

（佐久間委員）

2ページ目の教育に関する部分のところで、ICT教育について意見がたくさん出たと思うのですが、長時間使用することだけを言っているわけではありませぬので、それだけではなくネットトラブルだったり、使い方のよい点や節度ある使い方、依存しないような使い方という要素も盛り込んでもらおうとよいです。言葉が足りないというか、せっかく出た意見が全然反映されていないという印象です。

（丸田部会長）

佐久間委員の指摘は大変よく分かりますので、事務局、いかがでしょうか。

（坂井政策調整課長）

もう少し含む形にしたいと思います。

（丸田部会長）

意見集約表であったとしても、委員の発言の趣旨が分かるようにご配慮いただければと思います。ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、資料1-2について質問や意見をいただきたいと思います。感染症対策について、第3部会が所管する政策6の中に盛り込んではどうかという意見がありました。部会長会議でも議論になりまして、安心・安全の分野のところでも取り扱ってもよいのではないかという意見もあったのですが、調整した結果、最終的に第3部会で取り扱ってはどうかという方向が出ました。改めて浦野委員からご意見がありましたら、お願いいたします。

（浦野委員）

適切なご指摘だと思いますので、いわゆるパンデミック、新たに起こる感染症に対する対策を行っていくことは大事だと思います。具体的に書くには少し難しいと思うのですが、今、国のほうでも、平時と有事という言葉が適切か分かりませんが、どちらにも対応できるような医療体制の検討が始まったところですので、かかりつけ医制度もあります、それに合ったような文言を盛り込ん

でいただけるといいと思います。

(丸田部会長)

ほかの委員の方々はいかがでしょうか。

(小池委員)

資料1-2の第2部会からのご意見のなかで「住んでいる人たち自身の評価は高くない」という部分があるのですが、どのようなデータを見てのご意見か分かりますか。

(坂井政策調整会長)

この部分につきましては特にデータがあるという話ではありませんでした。ただ、ご発言された委員のご経験の中で、単身赴任で来る方々からの新潟市の評価は高いのに、住んでいる人たち自身の評価は高くないと認識しているとのことでした。

(小池委員)

私は、教育施策のなかで、新潟への誇りと愛着を育むようないろいろなことに取り組んでいると受け止めています。子どもたちの様子を見てみると、いろいろなお祭りに親しんだり、地域の文化に親しんだりする様子が見られるのですけれども、それをわかったうえでなお記載したほうがいいのかという見解を持っておられるのか。あるいは、何かのデータに基づいて発言されたのか、感覚的なところで発言されたのかによって、この意見をどう受け止めていくかわ変わってくるのではないかと思います。個人的に、それぞれの小学校や中学校で、新潟への愛着を育むことを大事にした教育がなされていると受け止めていたので、そのあたりで、このご意見をどのように受け止めたらいかが疑問ではありませんでした。

(丸田部会長)

第2部会でどのような意見があったのかを踏まえながら、少し補足説明をお願いできますでしょうか。

(坂井政策調整課長)

その委員のお話としては、小学校といったところから、新潟はとてもいいところなのだということを教えるとか、教育カリキュラムに入れて、一度外に出てもまた帰ってきたいと思うような子どもたちを育てていくことも必要ではないかという趣旨だったと思います。その委員が普段どのくらい子どもたちに接していらっしゃるかは、私どもは分かりかねるのですが、もしかすると今おっしゃっていただいたような部分が見えていなかったのかもしれない。

(小池委員)

答申に入れていただくことについては、それが必要なのであれば特に反対はしませんが、今、教育現場の皆さんが頑張っておられる部分も十分ありますので、その辺りも加味しながらこの意見集約として表現していただけるとありがたいと思いました。

(丸田部会長)

部会長会議の際は、キャリア形成教育の視点からもう少し積極的に盛り込んではどうかという趣旨の第2部会での発言であったと私は理解いたしました。

そのような関係で、前回の会議で小見委員からの意見にもありましたが、高校教育については限界があるけれども、小学校、中学校の学校教育の中でキャリア形成教育を十分意識しながら、一旦県外へ出たとしても、いずれ新潟に愛着を持って帰ってこれるような意図を盛り込んだらどうかという趣旨であったかと思いますので、第3部会で第2部会の意見をいったん受け止めることについて了としたという経緯があります。ほかの委員の方々はいかがでしょうか。

(佐藤委員)

意見集約のほうですけれども、小さい頃から新潟への誇りと愛着を育むような取組と書いてありますけれども、例えばこんな取組ということを入れるとよく分かるような気がします。例えば、という

ことを一つでも挙げていただければよいのではないのでしょうか。

(丸田部会長)

例示的に盛り込んだらどうかという趣旨の意見ですが、いかが取り扱いますか。

(坂井政策調整課長)

第2部会で出た意見をもう一度確認し、盛り込めれば盛り込みますし、大きなお話でしたら、そこは相談させてください。

(丸田部会長)

そうですね。部会長同士の間では調整がついていますが、今出た意見については改めて事務局の第2部会担当との間で調整していただいて、必要な修正があるようでしたら修正をお願いしたいと思います。よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

(井上委員)

地域への誇りと愛着の醸成についてですけれども、政策5の「新潟市の現状／将来を見据えた課題」のところには明確に書いてあります。一方で施策の方に具体的に出てこないところが問題と言われていたという理解でよろしいのでしょうか。

施策の前提となる課題意識として書いてあるのでそれで良いのではないかという意味で、私はスルーしてはいたのですが、この辺りの扱い方というか、この素案における書き方の位置づけが不明確だからこういう話になってしまうのではないかと思うのです。その辺を改めてご説明いただけないでしょうか。

(坂井政策調整課長)

基本的には、最初の「新潟市の現状／将来を見据えた課題」で記載した現状ないし課題に対して、今後どうしていくかというあたりが施策として記載されているものと認識しております。

(本間教育次長)

地域への誇りと愛着の醸成について課題認識として挙げています。これに対応する施策は1つではないのですが、例えば、施策1①の三つ目の○、アグリ・スタディ・プログラムのところで新潟市ならではの教育をしていく、施策2②のところで、生涯学習として地域課題の学習をしていく、施策3①のところで、小池委員からもご指摘いただいた「地域とともにある学校」の中で地域の良さを見直していくような教育を展開していく、というところが対応しています。課題と施策が必ずしも1対1になっているわけではなく、この課題に対しては施策全体を通じて対応しているという認識でございます。

ほかの部会からのご意見ということで、私どもも直接やり取りしたわけではないので、私どもが取り組んでいる現状をお伝えする機会がなかったうえでの意見と認識していますが、ただ、外部有識者の会議ではよくいただく意見だと思っていますし、愛着の醸成には終わりが無いものだとも認識しております。私も今は教育委員会に在籍していますが、以前さまざまな部署にいるときに、単身赴任で来た方から、新潟は非常に人情もあって食べ物もおいしいしお酒もおいしく非常にいいところなのになかなか伝わらないねという話はよく聞くところでした。子どもたちを大事に育てて、地域のよさを知ってもらって、そしていずれはまた新潟に帰ってくるというところは永遠の目標なのかと思っています。地域のよさを伝えていくことは、今も頑張っているけれども力を抜いてはいけない大事なことだと思っています。

(丸田部会長)

若干補足しますと、私が出席した部会長会議の議論の中では、施策が不足しているという議論ではありませんでした。部会長会議の概要にもありますように、前半部分に書かれていることが後半部分の施策のところまでくると、どことどこがどのように関連しているのかということが少し分かりにくくなるので、その辺りを分かるようにしてはどうかという意見で、最後は調整がついたかと思えます。

し、その点は牛木会長もそのような問題意識を持っておられました。ほかにいかがですか。

(今井委員)

上のほうの意見ですけれども、先ほどほかの委員の皆さんもおっしゃっていたように、学校教育の中では取り組まれていると思います。地域と学校パートナーシップ事業など、地域と学校がつながっていくというところもそうです。

ただ、例えばUターンを推進していくという話になると、また文章が変わってくるのではないかと考えていて、若者が地元を一旦離れても帰ってきたいと思えるような地域の愛着の形成することと、Uターンで戻ってきて地元に住んでお仕事をしたりするというのは、教育とはまた別の施策の視点が含まれてくる気がするので、その辺りの関連性が見えてくるとよいのではないかと感じました。

(丸田部会長)

ありがとうございました。以前の部会でもストーリー性が重要だという意見が出ていた経緯があります。今ほどの今井委員の指摘についても、全体のストーリーとして、市民が分かりやすいような工夫をしていただきたいということで、部会長会議でも意見がありました。それを受け止めてもらうことで反映できると理解しておりますが、事務局、いかがでしょうか。

ほかにありませんでしょうか。

では、確認させていただきます。資料1-1の意見集約表(案)については、少し意見もいただきましたが、基本的にはご了解いただいたと理解しております。資料1については、ほかの部会から出た意見ではありますが、いずれも必要な指摘であったかと思っておりますので、これらの意見についても答申に含めることとしたいと思っておりますが、ご了承いただけますでしょうか。ありがとうございました。

それでは、前回意見の集約については終わりにしたいと思います。

繰り返しになりますけれども、本日いただいたご意見については、最終的には事務方と私のほうで調整するというので、部会長に一任いただきたいと思います。

## ・ 答申案の確認

(坂井政策調整課長)

資料2「新潟市総合計画答申(案)」をご覧ください。これまでに委員の皆さまからいただいたご意見を基に答申書の案としてまとめたものになります。

1 ページ目からは、審議にあたっての背景や審議の結果を記載した冒頭文を記載しております。

3 ページから5 ページ、また、最終ページ 10 ページの総論や新潟市を取り巻く状況、区におけるまちづくりの方向性など、第1回全体会の終了後に委員の皆さまから書面で頂いたご意見を掲載してございます。

この第3部会でご審議いただきました意見は、6 ページから 10 ページに掲載してあります。なお、現時点で集約が済んでおります第1回と第2回の意見を掲載しております。ここに、先ほど集約させていただきました第3回部会での意見や他の部会の意見を加えたうえで、次回の第2回全体会の際に改めて答申書の案をお示しする予定としております。

(丸田部会長)

ありがとうございました。今ほどご説明を頂きました答申書の案につきまして、現時点のものということでありますけれども、特に冒頭の文章や、そのほか全体を通じまして、ご意見がありましたらいただきたいと思います。いかがでしょうか。

それでは、現時点の案についてのご意見等については、特にないということで、答申案の確認を終わらせていただきます。

### 3 報告

- ・第1回全体会及び第1・2回部会にかかる意見への対応（案）について事務局より、参考資料1・参考資料2について説明しました。

（丸田部会長）

ありがとうございました。丁寧にご説明いただきました。第1・2回部会で皆さんからいただいた意見が34件ありましたが、それらに対する市の考え方と対応案についてご説明いただきました。

この対応案については審議事項ではございませんので、報告という形をとっております。お手元の資料なり、ただいまの課長からの詳細な説明を受けて、ご意見がありましたらいただきたいと思えます。

なお、部会長会議で他の部会から出た意見を見たところ、この第3部会は4つの部会の中で最も多く意見を出していました。それからもう一つの特徴として、34件のうち半分が新潟市における子育ての施策に対する意見でした。意図的にそうなったわけではなく、委員の方々からいただいた意見を最終的に集約すると、34件のうち17件が新潟市の子育ての施策に関する意見であり、その意見に対して丁寧に行政のほうから取り扱っていただいて、対応案を取りまとめていただいたということは大変よかったですと思っております。私が先に感想を申し上げてしまいましたけれども、今の課長の報告に対して意見がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

（井上委員）

審議する部分ではないということなのですが、1点意見を述べさせていただきます。

政策4のところ、これまでも何度か言わせていただいた点ですが、結婚、出産、子育てに関して切れ目ない支援を行っていくということは本当にありがたいことだと思うのですが、一方でプレッシャーを感じる人もいます。また、今は多様な家族の形があつて、そして今後もどんどん変わっていくであろうところで、基本的方向の修正の仕方に少し抵抗感があるというのが正直な感想です。シンプルに「安心して希望する家族の形が実現できる新潟市」という言い方ではだめなのかなと思っております。

施策1などで結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援と書く分には問題ないのですが、基本的方向の部分については、家族の形はいろいろあると思えますし、欲しい子どもの数とのギャップというものも含めて「希望する家族の形」というような表現にすることで、広くみんなが捉えられるような書き方のほうがよいのではないかと私は思います。いろいろと配慮した結果とは思いますが、「希望する人が安心して結婚し、子どもを…」というような表現だと、特定の人たちを指しているような感覚を私は覚えました。これまでの議論を踏まえると、私はそのあたりに抵抗感がありました。

（丸田部会長）

ほかに、ご意見がありましたらお願いいたします。

特に手が挙がらないようであれば、意見対応については以上とさせていただきますと思えます。

用意した議題は以上です。冒頭申し上げましたように、本日で部会は終わりになります。今ほどの井上委員からの意見も含めて、本日いただいた意見については、事務局と私のほうで共有しながら結果的には部会長である私に一任をさせていただければと思えますが、よろしいでしょうか。ありがとうございました。

### 4 閉会